

聴覚障害者のための遠隔情報保障の歩みとこれから ウェブベース遠隔情報保障時代の到来

若月大輔¹

概要 : 1990 年代後半の遠隔地手話通訳の研究を皮切りに、遠隔地から聴覚障害者の情報保障を行う遠隔情報保障の研究が行われてきた。昨今の COVID-19 による社会情勢の変化にともない、遠隔情報保障の需要が急速に高まり、より実用的システムが求められている。本講演では、聴覚障害者のための遠隔情報保障のこれまでを背景に、自身が研究開発してきたウェブベース遠隔文字通訳システム captiOnline について述べ、聴覚障害者のための遠隔情報保障のこれからについて考える。

キーワード : 遠隔情報保障, 遠隔文字通訳, 聴覚障害者, ウェブベースシステム, captiOnline

History and Future of Remote Information Support System for the Deaf and Hard of Hearing

Daisuke WAKATSUKI^{†1}

¹ 筑波技術大学
Tsukuba University of Technology